

おはようございます。夏休みが終わり、元気に、さわやかに登校してくるみんなの姿を見て、私は今、あらためてわくわく感を感じています。学校ってやっぱりいいなと思います。

さて、夏休みの間も、頑張るみんなの情報がいろんなかたちで耳に入ってきました。東海大会にまで歩を進めた桔平君と妃香さんはもちろんのこと、中体連に参加した人たちの健闘ぶりには、あらためて拍手を送りたい。よく頑張りました。また、地域の防災教室に1年生の3名が参加した時には、そのやる気に地域の方が感心されたようで、そのことをわざわざ私に教えてくださいました。さらに、夏祭り等のボランティアに多くの生徒が参加できたことを、私は価値あることと感じます。陶でも稲津でも、ボランティアに取り組むみんなは実にいい顔をしていました。稲津で花火が上がった日の翌朝、朝5時半から行った清掃活動にも、何名かが参加してくれましたね。そこにいらっしゃった方から、「南中の生徒、いいね」「手伝ってくれる気持ちが嬉しいわ」などといった言葉をいただき、私もまた、こそばゆいような嬉しさを味わったものです。そういったみんなの活躍ぶり、頑張りを、南中の先生方は全員承知しています。夏休み中にたたえるべき何かがあると、先生たちの連絡網で即座にそれが回ったからです。頑張る君たちの姿の報告は、先生たちにとって夏バテ防止の効果があったような気がします。そんな先生方ですが、今日、みんなを気持ちよく学校に迎え入れるため、数日前から教室環境の整備や校内環境の美化に努めてくださっています。南中は、先生たちもまた「1cmの主体性」にあふれています。

さて、そんな先生方に、私は職員会議で、「分からないことを分からないと言える生徒を育てよう」と呼びかけました。1学期も、3年生の中には昼休みに小倉先生による特別授業に参加したり、自分から質問をしに先生のもとを訪れたりといった姿がちょくちょくありましたよね。さすがは3年生です。だってあれ、立派な主体性だと思うからです。また、「分からない」と自分から言うその裏には、「分かってほしい」という意欲があることも見逃せません。そんな主体性や意欲は、どんな社会でも評価されるはずですよ。

2学期には体育祭や合唱祭やオープンスクールといった大きな行事があります。2年生は職場体験学習があり、3年生は進路決定の時期を迎えます。後期になれば、みんなは新たな役割にも挑戦することになります。分からないこと、うまくいかないこと、困ること、当然出てくると思いますよ。でも、そんなの何の問題もありません。分からないことは分からない、困っている時には困っていると明るくはっきり伝えながら、明るさ、前向きさ、意欲、そして「1cmの主体性」を目いっぱい発揮してください。頑張る君たちを、先生たちは引き続き応援し続けます。

充実した学校生活づくりを、たった今から再開ですね。2学期もよろしくお祈りします。